

広報 だんち

2025
11月号

NO.526

(協)焼津水産加工
センター発行

焼津市惣右衛門1280番地の2

令和7年11月26日発行

編集・総務係

TEL・054-624-2111

FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp>

11月団地の言葉

「たぶん・だろう」は事故のもと

迷ったときはまず確認

今月下旬に団地ではインフルエンザの予防接種を行いました。組合事務所には団地中から大勢の方が接種を受けにみえ、ある意味でこれも「冬支度」と言えるのではないでしょう。当然ですが「予防接種を受けたから大丈夫」ではなく、日頃から手洗い・うがいを励行し継続して感染対策する事が大切です。また、コロナ禍と同様に咳エチケット（マスク）や換気、アルコール消毒もお忘れなく。特に外出時には除菌タイプのウェットティッシュを常備しておけば更に安心感が高まります。スーパリーなどで不特定多数の方が触ったカートやカゴを使った後に、除菌ウェットティッシュで手を拭くなど日常生活の中で出来る対策を心掛け、自宅や会社内でも皆が頻繁に触るドアノブなどを消毒しておくだけでも感染リスクは下がります。今年は昨年よりも早く「流行期」に入り、厚生労働省によると、11月中旬の時点で静岡県内でも休校や学年閉鎖が・・・と言うデータもあります。ただ静岡

県内でも中部地区は他所と比較して定点当たりの患者数がダントツに少ない様なので、この状態が維持できれば少しは安心出来ますが、これから本格的に寒くなり、空気が乾燥してくるので油断せず対策に努めたいと思います。インフルエンザ以外にも年末は事故や怪我が増える傾向にあります。特に自宅や職場の大掃除で、普段触らない場所や物を掃除する時に、慣れない作業や慣れない場所と言った悪い条件が重なって転落・転倒などの事故が起りやすくなるそうです。脚立を用いる高所作業などは2人1組で行うなど安全対策を講じたうえで行う様に心掛けて下さい。また、他にも冬は火気の取り扱い、つまり火災にご注意下さい。焼津市内でも市街地で住宅1棟が全焼する火災があつたばかりで、同じ日には大分県大分市で住宅170棟以上が延焼する大規模火災が発生しました。原因は調査中ですが、これは昨年1月に能登半島地震直後に起きた石川県の「輪島朝市」での大規模火災と同程度と言われています。空気が乾燥し、更に風が強くなる傾向にあるこの時期には小さな火種が大きな火災を生む原因になります。最近では野焼きは見なくなりましたが、煙草のポイ捨てなど火の不始末によ

る火災が後を絶ちません。「たぶん消えただろう」「消したつもり」ではなく、消えたか確認するのを忘れずに。今月の団地の言葉にある通り「たぶん・だろう」ではなく確認を徹底し火災予防に努めて頂きたいと思います。今月のだんちの言葉はマルシメさんの作品です。



今月の紙面

p2 11月の定例役員会／中間決算監査を実施
／59期生集合講習終了

p3 魚フェスに業務課が出店／工団連事務局
専従役職者研修会に参加／環境整備を
実施した

p4 カツオ情報／百味窓

12月の組合行事予定

12月8日（月）

定例役員会

12月の暦

12月22日（月）

冬至

◆11月の定例役員会◆

去る11月10日に、11月度定例役員会が開催されました。

1 令和7年度上期損益報告と中間決算監査について

9月末における中間期の決算報告を行う。前年との比較にあつては減収減益となつたが、これは前年が好成績であつたことと、化成製品単価の値下がりで減収となつた一方で費用も減少したものの率としては収入の比率よりは薄かったことが要因。但し、予算作成時には単価下落は織り込み済みであつたこともあり、税引前利益で約40百万円を計上し、計画比達成した。

これについて、監事2名による中間決算監査が行われ、会計監査及び各部門長が同席した業務監査が行われ、上期の業績についてつぶさに確認した。監事からの講評として、近時人員補充も進んできたがギリギリの人員であるがゆえに余裕がなく、有休取得率が上がらない、労災も半年というスパンでは多い印象を受けたことからそれへの対処を念頭においての「(職員を)辞めさせない環境づくり」、供用開始後10年以上の者が多く、或いは30年超というのもあり、連日間近でみている各部門の職員が良く考え、その上で事務局と協議した上で「計画的な施設改修を」の2点が挙げられた。

2 連絡・報告事項

「鯉節加工部改修に係る行政手続きについての対応」「育児介護休業法改正に関する『顧問介護士サービス』の紹介」ほか2項目の連絡・報告事項について了承された。

◆中間決算監査を実施◆

11月4日(火)、寺尾代表監事(金虎)・山口監事(マルハチ村松)による加工センターとマリンセンターの中間決算監査が行われた。

前半は上期の概況報告及び会計監査を、後半は各部門の責任者が同席し業務監査(ヒアリング)を実施しました。監事からは「前期比でみると厳しい状況にあるが、計画値は達成しており堅実に努力している事を確認した」との講評を頂き、また取り組むべき課題も提示されました。

監事会の結果は11月10日(月)開催に開催された定例役員会にて報告しました。

◆59期生集合講習終了◆

11月18日に59期生13名の実習生の集合講習終了式を行いました。



ら、これからの日本での生活の基礎知識を身に着けました。

当団地としては、インドネシアからの受入れ第一期生となるため受け入れ企業及び監理

団体は、実習生の皆さんの日本での生活や実習について非常に心配していました。

しかし、この一か月の講習を通して、監理団体の職員からは「皆明るく、日本語取得の意欲が強く、真面目である」との印象を受けました。「この子達の受け入れはまず間違いない、今までの受け入れの中で一番良い」という職員もいました。

終了式の席では、実習生代表として挨拶をした(株)木村商店のADRIAN ALP IADI君の流暢な日本語には一同驚かされました。これは実習生挨拶の歴史的記録を作ったと言えるほどです。

受け入れ企業及び監理団体は、この13名の実習生の今後の活躍を非常に期待しており、楽しみにしております。

◆魚フェスに業務課が出店◆



ミナミマグロをはじめとする海の幸が焼津漁港新港に大集合! 約70店舗が出店した『魚(と)とフェス』に業務課が出店いたしました。

例年1日のみの開催でしたが今年は11月15日(土)・16日

(日)の2日間の開催でした。

このイベントは魚だけではなく地元農産物や加工品も並び、トークショー・ライブ・

解体ショー・じゃんけん大会など、食事だけではなく見て・参加して楽しめるのが魅力です。

両日ともに暑いくらいの晴天に恵まれ、さらにみやぞんさんや田村亮さんなどの有名人のステージイベントもあり、非常に多くのお客様が来場し幅広い年齢層のお客様が楽しまれている様子が見られました。

佃煮・鰹節・フィッシュカルシウムなど人気商品を多数用意しましたが、一部の商品は1日目に完売するなど大盛況でした。

◆工団連事務局専従役職者研修会に参加◆

当組合を含む全国63の団地組合にて構成される全国工場団地協同組合連合会（以下、工団連）にて「全国工場団地トップセミナー」及び「組合事務局専従役職者研修会」が10月下旬に開催され、当組合よりトップセミナーには増田聖剛理事長と水野泰成理事、研修会には水野理事が出席した。

トップセミナーは隔年にて工団連と（株）商工組合中央金庫の共催により、都内にて開催され、全国の工場団地組合の代表や役員など43名が参加。今回は「AIを中心とした最新テクノロジーがビジネスや社会に与える影響、生産性について」と題し、第一生命経済研究所の柏村祐氏が講演した。人材確保に窮する昨今、対応措置としてシニア・外国人などの労働力確保のほか、AIに代表される最新技術を駆使して生産性を上げるやり方があるとして、ChatGPTなどに定例的な仕事を任せ、人ひとり分を浮かすようにする。もちろんAIにも得手不得手があるので、そこは

しつかりと見極めて人間の資質も向上すべき点がある、と説明し非常に感銘を受けた。その他、水泳女子のオリンピックである千葉すず氏の講演も行われた。

研修会については年一回開催され、今年は32組合36名が参集。これに、中小企業庁経営支援課3名がオブザーバーとして参加。この研修会は隔年で会員組合の視察など含めた地方開催を行っており、今回は栃木県宇都宮市・鹿沼市にて開催。初日には鹿沼木工団地協同組合を視察。まずは2022年より実施している保育事業を視察。企業主導型保育事業として、市や金融機関（商工中金）も非常に協力的で、また保育施設は木工団地ゆえに、ふんだんに木材を使った温かみのある建物・造作としている。4年目を迎え、地元協力企業や近隣住民などにも利用者が増加して定員満員が継続しているが、今後は欠員が予測されるところで懸念材料であるとした。また次期経営層による青年会の活動発表や、組合員企業の工業見学なども行われた。その他、宇都宮市役所から昨年開業したLRT（路面電車）に関しての起ち上げと開業後の展開について説明を受け、街づくりの基礎である交通網の円滑



化に對しての先進的な考えを伺ったり、他の構成組合からも先進取組事例（岐阜・可児工業団地の『ローカル5G実証実験』）などを伺い、非常に有意義で刺激を受けた研修であった。

◆環境整備を実施◆

10月25日（土）組合業務管理部では環境整備を実施しました。駐車場の草むしりや河川の清掃等を行い、最後に除草剤を散布して終了しました。環境整備は基本的に春と秋の2回は全員で行いますが、他にも気付いた時にも個々の職員が仕事の合間に行っています。今年も猛暑の影響で草木の成長が著しく、雑草もかなり成長していましたが、定期的に行う事で綺麗な状態を維持していきたいと思えます。また、12月から造園業者に依頼し団地内の樹木の剪定作業に取り掛かって頂く段取りになっています。

◆インフルエンザ予防接種を実施しました◆

今年は11月19日（水）20日（木）の2日間、組合事務所1階会議室でインフルエンザの予防接種を行いました。

2日間で合計185人の方が予防接種を受けられました。

今年は例年より1か月早くインフルエンザの流行が始まり、「警戒レベル」に到達しました。11月時点で警戒レベルに達したのは16年ぶりだそうで、急速に感染が拡大しています。

風邪をひかないよう、今後もしっかりうがいをしてウイルスから身を守っていきましょう。

2025年（1月～9月計）の輸出入 ※輸出はFOB価格、輸入はCIF価格
※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸 出>		2025年		2024年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タ	イ	9,235	1,921,294	20,810	4,124,724
フ	リ	1,421	341,782	2,796	654,439
ベ	ト	13	1,758	25	5,033
ナ	ム				
計		10,671	2,267,110	24,378	4,924,423

<輸 入>		2025年		2024年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
イ	ン	23,939	5,046,177	23,137	4,864,382
ン	ド	809	140,296	—	—
ベ	ト	235	51,719	299	64,219
ナ	ム				
ブ	ル				
計		25,550	5,350,584	24,052	5,054,823

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

※水産庁統計データ冷蔵水産物流通統計月末在庫を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2025年(単位:t)	22,194	23,028	19,309	20,761	19,979	17,142	15,898	18,478					156,789

§ 国内主要漁港市場の水揚げ (2025年1月～9月計)

※水産庁統計データ産地水産物流通統計を加工して作成

情報

	2025年		2024年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>	16,559	555 円	44,333	318 円	37%	175%
<冷カツオ>	117,851	268 円	133,902	259 円	88%	103%
<カツオ合計>	134,410	303 円	178,235	274 円	75%	111%

§ 焼津水揚げ (2025年1月～10月計)

※焼津漁業協同組合統計データ取扱高対比表を加工して作成

	2025年		2024年		前年比%	
	数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>	21,363	354 円	9,381	366 円	228%	97%
<巻網カツオ>	42,720	224 円	54,596	224 円	78%	100%
<カツオ合計>	64,083	267 円	63,977	245 円	100%	109%

百味窓

いい夫婦

日本では、11月22日を「いい夫婦の日」と言います。毎年、この日に入籍・結婚する人が普段より多いそうです。

中国で、いい夫婦となるためのあるアンケート調査では、相手のどこが気になるかを答えるものがありました。結果は男女関係なく、相手に対する希望として「責任感があり、浮気しないこと」が第一位、「優しく、理解してくれること」が第二位、「親孝行すること」が第三位でした。

意外にも、「家庭のレベル（貧富、社会地位、文化差異）が合うこと」「高学歴であること」などが最後の基準になったそうです。

「琴瑟相和」という古典があり、「窈窕たる淑女は琴と瑟もて之を友とす。（もの静かな良い娘は琴と瑟を奏でながら、よき連れ合いとなる。）」といった意味です。よい夫婦のシンボルですね。

